

進路だより

第8号

令和6年12月23日発行

文責：東豊高校進路指導部

毛筆：書道部

イラスト：イラスト部

美術部

第40期の進路について(12/9現在)

現在の3学年、第40期の生徒の12月9日現在までの進路決定についてお知らせします。

進路決定者は53名。内訳は次のとおりです。

●就職13名 ●専門学校23名 ●大学短大16名 ●看護専門学校1名

3学年95名中53名の決定で、決定率は56%。残りは44%になっています。このあとも、大学を総合型で受験する生徒や、公務員への受験、就職試験を受験する生徒が多くおりますので、この進路だよりが発行される12月23日には、上記の数字を伸ばしていることと期待しています。



進路先一覧(12/9現在)

進路決定!!

●就職

鴻池運輸(株)【倉庫作業】、トヨタカローラ札幌(株)【エンジニア】、(株)ベッセルホテル開発【ホテル客室スタッフ】、(株)セイフティーステップ【技術職】、(株)京王プラザホテル札幌【客室・レストランスタッフ】2名、総合商研(株)【印刷オペレーター】、セコム(株)【現金護送/ビートエンジニア】2名、ほっと保証(株)【一般事務】、(株)ビックカメラ【販売職】、(株)札幌シャトレゼ【ホテルスタッフ】、(株)札幌パリ【製造スタッフ】

●専門学校

札幌デジタル&どうぶつ・医療・観光専門学校【ブライダル・ホテル&エアライン・鉄道学科鉄道コース】2名、札幌ミュージック&エンターテイメント専門学校【音楽・放送芸術総合コース】、札幌ミュージック&ダンス・放送専門学校【スーパーエンターテイメント科コンサートクリエイター専攻】、愛犬美容看護専門学校【愛玩動物看護学科】、専門学校北海道福祉・保育大学校【保育未来学科】2名、専門学校北海道自動車整備大学校【一級自動車整備学科】、札幌科学技術専門学校【自動車工学二級自動車整備士コース】2名、北海道中央調理技術専門学校【調理技術専攻科】、札幌医学技術福祉歯科専門学校【歯科衛生士科】、大原簿記情報専門学校【ビジネス系学科事務職専攻コース】、北海道歯科衛生士専門学校【歯科衛生士学科昼間部】、青山建築デザイン・医療事務専門学校【建築デザイン科、デザインコース】、大原法律公務員専門学校【国家公務員・地方初級コース】、北海道情報専門学校【ゲームクリエイタ科/大学併修科/システムエンジニア科先端技術専攻】3名、北海道芸術デザイン専門学校【産業デザイン学科イラストレーション専攻】、札幌どうぶつ専門学校【犬の美容学科】、札幌医療秘書福祉専門学校【介護福祉科総合福祉コース】、札幌商工会議所付属専門学校【情報マネジメント学科ITコース】

●大学・短期大学

北翔大学【教育文化学部心理カウンセリング学科/同学部スポーツ教育学科/同学部芸術学科インテリア建築分野/同学部芸術学科服飾美術分野】4名、札幌学院大学【人文学部英語英米文化科/経営経済学部経済学科/同学部経営学科】3名、札幌大学【地域共創学群リベラルアーツ専攻】、北海学園大学【経済学部2部】、北海道情報大学【経営情報学部システム情報学科システムエンジニア領域】、藤女子大学【ウェルビーイング学部子ども教育学科】、星槎道都大学【芸術学部デザイン学科イラスト・マンガ専攻】、札幌国際大学【人文学部心理学科/スポーツ人間学部スポーツビジネス学科/観光学部観光ビジネス学科】3名、北海道武蔵女子短期大学【教養学科教養コース】

●看護専門学校 北海道医薬専門学校【看護学科】

令和6年 第40期の進路活動について

2024年が暮れようとしています。今年は閏年でしたので366日の日々を過ごしました。皆さんにとっての2024年はどんな年だったのでしょうか？ 今年1年の進路活動について、進路指導部長の新居先生に振り返っていただきました。また、行間に今年の進路活動の写真もちりばめました。新居先生の言葉を読みながら、今年一年を、皆さんも振り返ってみてください。

進路指導部長 新居大輔



例年本校の進路活動は、年内（年明け前）に多くの生徒が進路を決定します。専門学校進学希望者が50%、就職希望者30%と全体の80%を占める状況であり、加えて大学進学希望者も多くは年内入試（学校推薦型選抜、総合型選抜）を用いて受験するからです。昨年度はこの時期、83%の生徒が合格・内定を勝ち取っています。今年度12月までの進路活動を振り返ってみると、前ページの数字のように



進路未決定の生徒がまだまだたくさんいます。**理由は明確です。「受験できない」からです。「評価1がある」「欠課時数が多い」**この2つの理由で、卒業見込みを出すことができない生徒が多数いるのです。特に「欠課時数が多い」ために受験できない生徒がそのほとんどを占め、後期末考査後に受験できる見込みであるということも私自身も痛感しました。



「欠課時数が多い」ために受験できません。これらの生徒についてですが、**生活習慣が人生を決め**

受験に臨んだ生徒一マンスを発揮して、文試験の練習で、うながらよりよい対応しながら、心から賛辞を送ります。おめでとう。この経験は次のステップ、そして人生の中で必ず生きてきます。



私たちは、しっかりとした準備をし、試験当日もベストパフォーマンス合格・内定を勝ち取ってくれました。口頭試問の準備や小論なりながら頭を悩ませ続けた皆さん。面接練習で、涙を流し応を目指した皆さん。皆さんの努力がすばらしい結果を残したことに、心から賛辞を送ります。おめでとう。この経験は次のステップ、そして人生の中で必ず生きてきます。



今まだ受験できない（していない）皆さん。今後の試験で合格・内定を勝ち取れるように、最後の最後まで生活習慣を正してください。私たち東豊高校の教員はしつこいです。しつこく最後まで進路志望の決定を支援します！



進路を決めた3年生からのメッセージ

1, 2年生 **刮目** せよ!



進路指導部では、就職試験や入学試験を終えた生徒に「受験報告書」を書いてもらっています。そこには「後輩たちへのアドバイス」という枠があり、3年生の皆さんは1, 2年生に伝えたいことを、熱い思いを込めて綴ってくれています。全部を紹介したいのですが、紙面の関係で限られたものみの掲載となりますが、ぜひ「刮目（かつもく・目をこすってよく注意してみる）」して読んでください。

就職編



●面接はリラックスして臨んでください。緊張した方が負けです。試験については**一般常識問題から徹底的にやってください。数学を特にやってください。**●ウェブ面接は意外と難しい。面接官が話しているのにかぶらないように話すこと。●面接の際、入室から人柄を見抜かれるようなので気をつけた方がいいと思います。高校生活でどれだけ自分が何を頑張ってきたのか自己PRで伝えることが大切でした。●欠席日数とその理由をしっかりとまとめておくこと。見学に行ったときに感じたことなど細かくメモを取っておくこと。●成績を上げること。欠席遅刻もしないこと。面接は最初自信が無いとは思いますが、練習を積み重ねることで自信を持てると思います。自分もそれで救われました●私は進路活動をするのが人よりも遅く、履歴書も25枚くらいやり直しました。夏休みも数回しか登校しなかったため面接練習も7回しかできませんでした。だから、みなさん、こうならないように！**学校生活をきちんと送ってください。**●数学は文章での問題が多かった。国語は選択肢があるからわりとわかる。英語は記号と和訳（選択肢無し）があった。作文は過去にやっている問題を復習したり書く練習をしたりしておく**と本番やりやすくなるかも。**面接は自分の思ったこと、考えたことを丁寧に焦らず話せるといいと思う。

専門学校編



●はっきりとした「自己PR」が聞かれず、質問の中でふわっと「強みは？」と聞かれたので、**どんな質問が来ても自分が伝えようとしていたことをタイミング良く絶対に言えるようにしておいた方がいい。**●学校に入ったら待機する時間があるんですが、その時は頭の中でシミュレーションをし、有効な時間にするのが良いです。面接では結構質問を詰めてきました。**検定のことなど聞かれるので資格を取っておいた方がいいかも。**●オープンキャンパスは絶対に行かないといけません。先生に顔を覚えられた方が面接・面談にめっちゃ有利です。希望校について調べて、**教育の方針や気になる授業や学科をとことん調べてオーキャンで質問することが大事。**●私は過去の諸先輩が残したアドバイスや面談内容を読んで、ある程度答えを作ってから面接練習を行いました。実際に面談を受けると簡単にスラスラと答えることができたので必ず先輩方のアドバイスを読んでください。●学校での面接練習が**とても役に立ちました。自然と言葉が出てきたので一生懸命練習をした方がいい。**面談は面接より軽い感じと言われていましたが、入退室をしないだけで、ほぼ、面接のようでしたのでしっかりと練習をしてください。

大学短大編



●面接を楽しむこと。自分らしさを見せつけること。面接官をこちらのペースに乗せる気持ちで行く。そのためにも、沢山の面接練習で慣れることが大切。自分の中に柱を立てる。柱が安定したらそれが自信になる。**後悔がないように最高の自分を見せておいて！**●面接練習は必ず行うこと（10回以上）。柔軟に対応できるように練習しておこう。試験日の前日は持ち物の準備と睡眠をしっかりと取る。最後に、面接は想像している**5倍は厳しいと思え！**●事前準備必須。私は面接を14回練習しましたが、完璧まであと一歩足りないという感じでした。ちゃんと練習してください。●面接時間は意外と短かったので自己PRする時間があつたらすべきだと思います。将来やりたいことはまだ決まっていなくても聞かれるので、用意しておいた方がいいと思います。●新聞とニュースを見ておいたら良い。自分の考えが伝えられるようにしたら良い。将来の夢は決まっていなくても、決めておいてきちんと調べておくこと。笑顔で！！黙ってしまうのがよくないから、とりあえず話す。●しっかりと余裕を持って面接練習などするように。直前になって慌てないように、計画的に。大学では頭がいい人がいっぱいいると思うので、普段の授業からしっかりとした取り組みをしよう。●面接は10回以上絶対に練習するように。そして**希望学校のことを調べ尽くすこと。**面接は思っている何倍も難しい。面接官のプレッシャーに負けないように。●面接練習は真剣にやった方がいい。私は特に入退室の動作は緊張で細かいところをしっかりとできませんでした。笑顔で受け答えをするのが大切で、緊張していても声は大きく聞き取りやすく、堂々と笑顔でいけば印象は良くなると思います。●「口頭試問」(※1)では、その時その時に話題になっていること、問題になっていることを新聞などでしっかりと分かっておくことが大切。●もっと早くから面接練習をしておくべきだった。遅刻欠席は少なければ少ないほどよい。1, 2年生は今の遅刻欠席の数を増やさないように。●アドミッションポリシー(※2)をしっかりと頭に入れ、それを踏まえた志望動機を述べるべき。スマホの電源を切ることをお忘れなく。

※1「口頭試問」面接のような質問ではなく、学術的な質問をし審査する試験。口述試験。

※2「アドミッションポリシー」学校側からあらかじめ出される、入学の要件。このような学生に入学してほしいということが書かれてある。

去年今年 (いざよし) 貫く棒の如きもの 高浜虚子

私(織田)は、年末になるとこの俳句を思い出します。この俳句は次のような解釈になります。

「去年と今年、年は変わっても、あたかも太い棒が貫いているかのように継続して変わらないものもある」

年が改まると「全て新しく変化する」と思いがちですが、継続して行すべきものもあるはず。何が起ころうとも決して変わらないものがあると、この俳句は言っているのです。はたして、貫いて継続して行すべきものとは何か? 私の考えは「常に初心でいること」ではないかと思うのです。みなさん、良いお年を。

2024年

《1月》●石川県能登地方を震源とする震度7の地震発生。翌日 日航機と海保機が羽田の滑走路で衝突、炎上●JAXAの月探査機「SLIM」が日本の 無人探査機として初めて月面着陸に成功《2月》世界的指揮者小澤征爾氏死去●H3 ロケット打ち上げ成功《3月》●漫画家の鳥山明氏死去●山崎貴監督の『ゴジラ-1』と宮崎駿監督の『君たちはどう生きるか』が第96回米アカデミー賞受賞●「紅麹」サブリで健康被害、自主回収《4月》●自民、派閥の 政治資金問題で39人処分●新潟地裁、原告26名を新潟水俣病と認定● 円安、34年ぶり1ドル160円台《5月》経済安保「適性評価」新法成 立。《6月》●認証不正でトヨタなど立ち入り検査●天皇皇后両陛下が国賓 として英国を公式訪問《7月》最高裁、旧優生保護法を「違憲」●パリ 五輪、日本は海外最多メダル45個●「佐渡島の金山」世界遺産に《8月》 「南海トラフ地震臨時情報」初発表●岸田首相が退陣表明●パリパラ日 本は金メダル14個《9月》猛暑、夏の平均気温が過去最高タイ●長崎地 裁が「黒い雨」による健康被害者認定●『SHOUGUN 将軍』が米エ ミー賞18冠●知床観光船沈没、社長逮捕●大谷が米大リーグ初「50-50」●能登半島地震の被災地で記録的大雨●静岡地裁、袴田さんに再審 無罪●自民党総裁に石破氏就任《10月》ノ ーベル平和賞に「被団協」● 閣バイト強盗相次ぐ●俳優の西田敏行氏死去●衆院選で与党過半数割れ 《11月》福島第1原発、初のデブリ取り出し● 内部告発問題で失職の兵庫 県知事が再選《12月》流行語大賞に「ふてほど」 ●韓国尹大統領、戒厳令 発令、6時間後解除●紙の健康保険証新規発行停止 ●俳優の中山美穂氏死 去(12月9日現在)

2025年

《1月》3年生後 期期末考査●1, 2年生スキー授業開始《2月》●3年生 家庭学習期間 ●卒業認定会議《3月》●第40期卒業式●入学試験●進級 認定会議●春 休み《4月》着任式、43期入学式●テストバッテリー●基礎 力診断テスト ●面接指導週間《5月》高体連《6月》前期中間考査《7月》東 豊祭●求人 票公開●夏休み《8月》引き続き夏休み●就職書類等の提出期限 《9月》 就職応募書類受付開始●就職試験解禁●前期期末考査《10月》陸 上記録 会●見学旅行●専門学校推薦試験《11月》大学短大推薦試験 《12月》後期中間考査●校内体育大会～

流汗拓道

年末恒例の風物詩と言え、色々ありますが、ベイトーヴェンの「第9交響曲」の演奏会が全国のコンサートホールで開催されますね▼なぜ、「第9」がことさらに演奏されるのか▼おそらくそれは、ベートーヴェンの「苦悩を突き抜けて歓喜に至れ」という思想を音楽にした「第9」が年末の雰囲気にあうからだと思います▼「第9」は全部聞くと70分を超え大曲です▼あの有名な「歓喜の歌」はごく一部にすぎません▼曲の始まりは悲劇的な曲調です▼多くの苦悩を背負いながら、急坂を一步一步登っていくような音楽です▼時に闘争的、攻撃的な音楽になり苦悩との戦いを表します▼時には苦悩に打ち倒され、諦めずに立ち上がり、諦めずに立ち上がり、倒れないことではない。倒れてもなお立ち上がることを言うのです。

土坂先生 書

▼「第9」後は歓喜の歌で閉じられます▼皆さんも今年のファイナルを歓喜で終えられますように!